

【開会 午後1時30分】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○伊与部部長 皆様，こんにちは。函館市競輪事業部長の伊与部でございます。

令和2年度第2回函館市競輪運営協議会の開催にあたりまして，一言，ご挨拶を申し上げます。

本日は，大変お忙しい中，ご出席をいただきまして，誠にありがとうございます。

また，日頃より，市営函館競輪の運営にご理解とご協力をいただき，心より感謝を申し上げる次第でございます。

本日は，報告事項として，3点，のちほど事務局より報告させていただきますが，令和元年度の函館市競輪事業は，ナイター競輪および，新たに開始したミッドナイト競輪の売上が好調でありましたことから，運営協議会でも報告させていただきました通り，9月に弾力条項を適用し，売上予算を152億円から179億円へ27億円増額いたしました。

その後，10月に全国的なシステム障害の影響により，F I ナイターを1開催中止したことなどで，最終的な売上は約165億円となり，結果的に当初予算比約13億円の増で開催を終了し，平成30年度に引き続き，一般会計への繰出しを行ったほか，競輪場施設の計画的な改修を実施していくための「施設整備基金への積み立て」につきましては，平成30年度は約7,700万円のところ，令和元年度には約2億1,000万円を積み立てることができました。

今後もより一層円滑な競輪運営に努めてまいりたいと考えております。

また，今年度は，皆さまご承知のとおり，新型コロナウイルスの全国的な感染拡大の影響により，全国的に競輪の開催中止が相次ぎ，函館競輪場においても，記念競輪を含む4，5月の計6開催19日を中止いたしたところでございますが，5月25日に全ての地域で緊急事態宣言が解除され

て以降は、市営函館競輪新型コロナウイルス感染症対策要領を策定し、参加選手の分宿などの感染拡大防止措置を万全に行ったうえで6月4日から無観客での開催を再開し、その後も場外発売や有観客での開催と、順次、正常化に向けて歩みを進めてまいりました。

このような中、競輪業界においても、本来の9車立てのレースを7車立てにし、選手の移動も基本的に各地区内のみと制限するなどの新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じております。

8月には、GⅢナイター「函館ミリオンナイトカップ」を開催することができ、場内イベントについては残念ながら自粛となりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策を万全に実施し、多くの地元のファンにご来場いただくことができました。

しかしながら、ここ最近においては、関東地区をはじめとして全国的に、新型コロナウイルスの感染者数の増加が毎日のように報道されておりますので、引き続き、函館においても感染拡大防止対策に努めていかなければならない状況は変わらず、競輪業界が一丸となって、この危機を乗り切ってまいりたいと改めて考えているところでございます。

令和3年度には、6年ぶりに特別競輪であるGⅡナイター「サマーナイトフェスティバル」の開催が決定しております。

これから開催に向けた準備を行っていくこととなりますが、特別競輪を起爆剤として函館競輪を道内外に更にPRし、北海道で唯一の競輪場を将来にわたって継続することができるよう、今後とも努力してまいりますので、

より一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、本日までご出席いただきました各委員の皆様の今後益々なるご健勝を祈念し、私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

3 出席委員の報告

4 議題

(1) 報告事項

(ア)令和元年度自転車競走事業特別会計決算（案）について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき米谷事業課長から説明）

○千葉副会長 システム障害で1回開催中止になったということだが、その分の売上をどのように取り戻すのか。

○米谷事業課長 令和元年度は全国的なシステム障害でF I が中止となったところであるが、平成30年度にも北海道胆振東部地震によるブラックアウトの影響でF I 1開催，F II 1開催が中止となっている。

このように自然災害等，予測のできない理由によって開催を中止せざるを得ないということは常に想定される場所であり，それらの事象によりやむなく中止せざるを得ない開催については，売上の確保のため，中央団体に対して可能な限り代替開催の要望をし，調整することで売上の確保に努めていきたいと考えている。

(イ)令和2年度函館競輪下期開催日程について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき米谷事業課長から説明）

○今井会長 質問等ないか

（各委員：特になし）

(ウ)令和2年度市営函館競輪売上状況について

（資料「函館市競輪運営協議会提出資料」に基づき米谷事業課長から説明）

○立蔵委員 インターネットや電話投票が多くなってきたということだが，私たちの若いころは競輪というと年配の方が競輪場に来て車券を買っているということが多かった。

今は若い年代も取り込むようなインターネットとか，Y o u t u b e の中継とか，そういうことで取り込んできた結果が出たということか。

○米谷事業課長 ミッドナイト競輪など，若い人は夜型が多いため売上が伸

びてきているということもあるし、今年は新型コロナウイルスの影響で2月から6月までの間、サテライトや競輪場で車券の発売ができず、無観客で競輪開催を行っている中で、車券を買うすべがインターネットしかないという状況であった。

我々からもお客様へはインターネットで購入可能ですよということでお伝えさせていただいていた。

まだ分析中ではあるが、今までいつも来場し車券を購入していたお客様が、場外の発売が行われない状況の中でインターネットにシフトし、その結果インターネットでの売上が増加しているのではないかと考えている。

○木田委員 先日のミリオンナイトカップ開催時に来場し、感じたことだが、1Fの予想教室で既存の座席を減らしているんだらうけれども、ぎりぎりの密度でお客様が座っていた。

密度をあげずに多くのお客様にご覧いただくには、座席を増やすしかないのではないか。

ある程度の安全通路の確保は必要だが、座席をもう少し荒く置いて、たくさんの方が座れるようにしたほうがよいと感じた。

当日、観覧席を見たが、来場してレースを楽しんでいる人はかなり少ないと感じた。

入場する規制もあって社会的距離の確保にも苦労しているのだろうが、お客様に来ていただくこと、若いファンを増やすという意味ではお子さんを連れてこれるような仕組みも、以前のように戻していければと思っている。

実際に見ると、昨年と比較しても見に来る人はかなり落ちている実感があり、せっかく全体の売上が上がってきている中で、残念で仕方ない。

これを盛り返すためにはまず来てもらうこと、そして臨場感を味わっていただくことが重要だと思う。

会場の作り方も、もう少し人が入ってもいいような仕組みを工夫しても

らいたい。

また在宅余暇という形で、どうしても来場できないという人もいる。

華のある楽しみ方をインターネットでうまく流してほしい。

そういう意味ではガールズケイリンが結構中止になったので面白みが欠けたと思っている。

ミリオンナイトカップにおいてはレースこそないもののレース間の演出等でガールズ選手を起用したインタビュー等は、ガールズ選手の存在感がでており非常にいい内容だった。

○伊与部部長 1Fでの予想会について、今回我々もコロナウイルスにかなり注意して席も距離を取りながらというなかで行ったにもかかわらずそのように集まってしまったというのは、やはりその時その時に臨機応変な対応が必要であったり、例えばパイプ椅子などを出すことができたなど、我々としても今後の反省点と考えている。

お話にあったインタビューについては、今回新たに試行したものであったが、非常に好評であった。

お客様に来ていただくのが第一だが、どうしても密にならないよう規制をかけている中でも、普通の観覧席でさえまだ余っているという状況であり難しさも感じている。

他の競輪場を見ても、イベント関係は一切中止という中で、せめて、お子さん連れのお客様などのために何かできないかということもあって、今回、キッチンカーを入口の前に配置してみたが、これは非常に好評であったと聞いている。

また、場内はイベントができなかったが、そのような中でも盛り上げるための演出を行いたいと考え、今回巴太鼓を決勝の選手入場に起用してみたところ、選手やお客様からは非常に好評であった。

コロナ対策をしながらも、お客様をひきつけるものを持っていければと考えているので、今後も皆様のご意見をいただければと考えている。

○今井会長 事務局，委員から他に意見・質問等はあるか

(各委員：特になし)

(2)その他

○事業課長 包括委託事業者の決定は9月中旬を予定している。

決定後，委員の皆様へ資料を送付する。

=以上をもって終了=